

知事と区市町村長との意見交換会(府中市)

令和2年10月14日(水)
14時45分～15時05分

○**行政部長** それでは、意見交換を始めさせていただきます。

冒頭、知事からお願いいたします。

○**知事** お待たせをいたしました。都庁まで、このようにリアルでお話しするのもなかなかこれまでもあまりなかったかと思いますが、今日はコロナウイルスで、大変現場は御苦労されておられます、御苦労さまです。

そしてまた、感染の防止拡大、経済との両立ということで、ウィズコロナをどうしていくのかというのは大きなテーマであります。

それから、現在、都政の構造改革にも取り組んで、新しい日常づくりと、それから、単に元に戻るというのではなくて、サステナブル・リカバリーという観点から長期戦略を描くということから、今日は現場のお声を聞かせていただきたいと、よろしくをお願いいたします。

○**行政部長** それでは、高野市長、御発言をお願いいたします。

○**府中市長** 本日は、このように小池知事との意見交換の場を設けていただきまして、心より感謝を申し上げます。

それでは、時間も限られておりますので、早速、本日の一つ目のテーマであります新型コロナウイルス感染症拡大防止対策における東京都と区市町村との連携強化について要望させていただきます。

府中市内には、東京都が所管する東京都多摩府中保健所が所在しておりまして、本市を含めた6市、武蔵野市、三鷹市、調布市、小金井市、狛江市と本市で、連携を図りながら、総合的な保健衛生の推進、昨今では、特に新型コロナウイルス感染症に関連した様々な対策に取り組んでいただいているというふうに認識をしております。

新型コロナウイルスの感染者に関する情報につきましては、9月以降、週単位で御提供いただけるよう拡充が図られているところではございますが、保健所を自ら所管している自治体と比較いたしますと、まだまだ情報伝達速度や情報内容の詳細度に差があるのが現状であります。今後につきましても、特にクラスターの発生などが見られた場合には、その状況等につきまして、迅速かつ詳細に情報提供いただきたく、お願いをさせていただきます。

また、引き続き東京都と本市の職員をはじめとした関係者間の連携を高めていただくとともに、現在、市内の旧都立府中療育センター施設内に設置が進められている新型コロナウイルス感染症専用医療施設の情報につきましても、市民の関心が極めて高く、一部では不安の声が上がっておりますので、地元への丁寧な御説明、適切な情報提供も併せてお願いをいたします。

なお、現状では、風水害等発生時における避難区域内の新型コロナウイルス感染症の自宅療養者及び濃厚接触者の避難が課題となっております。現在保健所と調整を進めている段階と認識していますが、引き続き、都と連携をして課題の解決を図ってまいりたいと考えております。

次に、先ほども少しお声をかけていただきましたけども、二つ目のテーマであります、アフターコロナを見据えたラグビーのまち府中の推進に関する要望をさせていただきます。

本市は、昨年開催されたラグビーワールドカップにより大きな盛り上がりを見せ、その勢いを東京 2020 オリンピック・パラリンピックにつなげ、市としてのさらなる発展を期待しておりました。現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な面が停滞しており、いまだ先行きが見えない状況ではありますが、ラグビーワールドカップのあの熱狂を思い起こしてみると、本市にはラグビーという大きな宝があるということを改めて実感いたしました。

2022 年に開幕が予定されているラグビートップリーグの新リーグ構想では、ホームタウンの設定とともに 1 万 5,000 人以上収容できるスタジアムの確保が各チームの参入要件となっております。本市といたしましては、市内を活動拠点とする東芝ブレイブルーパス及びサントリーサンゴリアスの両チームがラグビー新リーグに参入する意向を示しており、引き続き両チームを支援する意向ですが、市内には同規模のスタジアムがございません。

一方で、昨年ラグビーワールドカップが開催された東京スタジアムには、国内外から多くの観戦客が訪れており、今後も本スタジアムでのラグビーの観戦機会を創出し、都内、特に多摩地域でのラグビーの価値を高めていくことがラグビーワールドカップ開催地としての真のレガシーになるものとして、新たなイノベーションにつながるものというふうに考えております。

つきましては、東京スタジアムにおける、少なくとも年間 3 試合程度のラグビーの試合開催と、併せて隣接する西競技場、AGF フィールドのラグビーでの活用につきまして、特段の御配慮をお願いさせていただきます。

以上でございます。どうぞよろしく願いいたします。

○行政部長 高野市長、どうもありがとうございました。

それでは、知事からお願いいたします。

○知事 まずは、新型コロナウイルス感染症を、これまでも随分時間をかけてやってまいりました。その間、各保健所の皆さん、大変活躍され、一方で、長きにわたっていることと、それから負荷が非常に大きいという課題があります。そのために保健所内の応援体制の構築、保健師、看護師さんなどの会計年度任用職員を採用するなどして増員をする。また人材派遣も活用するという形で進めておるところであります。また、PCR 検査一部委託化、様々な、今日もデジタル化などをして、工夫もしているところでもあります。

そして今、市長のお話ありましたように、週報で出しておるのを今は日報でお出しをさせていただいているということで、引き続き、クラスターなどが発生した場合などは、特に迅速に情報提供を行わせていただくということでもあります。

それから、府中は特に今回、療養所施設を、もともとある療育センターを活用するということで、一つの拠点になっていくかと思えます。また、地元市として御理解、御協力いただき、誠にありがとうございます。さらに、施設の特性から、住民そして関係の機関へ丁寧な詳しい情報提供が重要であります。これまでも市と協力させていただきました。また、住民代表への説明も行わせていただいたところでございます。やはり重要な拠点になりますので、市をはじめ、関係機関と連携させていただいて、必要な情報の提供に努めてまいりたいと思えます。

また、やはり今回、府中の方でこのように拠点ができるといのは、まず、都民全体にとりまして安心につながっていくことかと思えます。今後のインフルエンザなど、急にまた温度が下がるという、そのような先ほども情報がございましたけれども、そういった中でこれからの流れを考えますと、様々な予防策を取っていかねばならない。またそれを受け止めて、そして都民の健康を守らなければならない、そういう意味でも、これからも連携させていただきたいというふうに考えております。

副知事の方からもお答えさせていただきます。

○副知事 ラグビーワールドカップの件でございます。まず、昨年の大会におきましては、府中市におかれましては、府中市民の方2,000人とフランス人代表選手の交流イベントをケヤキ並木通りで開催していただくなど、盛り上がり大変御協力をいただきまして、改めて感謝申し上げます。

東京スタジアムにおけるラグビーの試合開催についてでございますけれども、サッカーのメッカでもあるということございまして、Jリーグ2チームとの日程調整とか芝の養生期間の確保等も課題があるというふうに伺っております。まずは関係者間で十分御調整いただけるよう、都としてもお願いしてまいりたいと思っております。

また、今年度は東京スタジアムの西競技場の活用として、初心者体験等のラグビー普及・振興イベントの実施も予定しております。西競技場も十分活用してまいりたいと思っております。

今後ともこうしたイベント等の機会を通じまして、多摩地域をはじめとする、東京におけるラグビーのさらなる普及拡大を図っていきまして、レガシーとして大切にしていきたいと思います。よろしくお願いたします。

○行政部長 それでは、今のお話を受けまして、高野市長の方からいかがでございますでしょうか。

○府中市長 新型コロナウイルスの感染予防、これは本当に長く続いておりまして、市民の中にもなかなか外出するのに勇気が要るなんていう声も、高齢者の方々を中心に声を聞いたりいたしますけれども、やはり知事が先ほどお話をされたように、ウィズコロナ、それぞれの皆さんの生活を新しい様式に変えていって、感染予防を常に心がけながら日々の生活を送っていくということが一番大事なことだというふうに思います。そういう中で、多摩総合医療センターが立地しております本市としては、多摩地域の医療拠点として東京都が位置づけていただいて、小児の病棟も含めて総合的に福祉・健康の増進に、そして医

療の発展に努めていただいているということは大変有り難いこととございます。加えて、旧都立府中療育センター施設内に新たな施設が設置されるということは、ある意味で、府中市民にとっても心強いこととございますので、是非適切に、先ほども御要望を申し上げましたけども、必要な情報は提供していただくようお願いをしたいというふうに思っているところであります。

また、多摩川が南側を流れておりまして、先週台風14号、昨年とちょうど同じ時期に台風が参りましたので、昨年は、市制始まって以来の避難勧告の発令ということで、9万5,000人ぐらいの方を対象に避難勧告を发出させていただいて、今年はそれが無いといいと思っずずっと来ていたんですが、幸い、特に大きな災害が予想されるようなコースにもなりませんので、事前の本部会議を1度開いただけで済みましたが、今後はまたいつ同じような災害が起きないとは限りませんので、風水害の発生についても東京都の応援をいただくように、ここで改めてお願いを申し上げたいと思います。

そして、多羅尾副知事にお答えいただきましたラグビーのまち府中の推進については、やはり、昨年のちょうど今の時期にワールドカップ開催をされておりまして、物すごく盛り上がりを見せました。スタジアムでの観戦ももちろんですが、府中駅の周辺にあります、知事もおいでいただきました、あの大國魂神社の前のケヤキ並木でのパブリックビューイングや府中のチームの所属している、キャプテンだったリーチマイケル選手とかサントリーの松島幸太郎選手とか、ああいった選手たちが来て報告会、イベントやったときには、数え切れないぐらいの人が関東近県からおいでいただいたと思うんですけど、そういった魅力をさらに磨いて、多摩地域全体がラグビーを一つのきっかけに発展していくように努めてまいりたいというふうに思いますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

○行政部長 どうもありがとうございます。

それでは、最後に、知事からお願いをいたします。

○知事 多摩はね、これからサテライトオフィスなどで、やはりこれだけ変わってきましたんでね、私はむしろ、新しいきっかけになるのではないかと考えておりますし、これもいろいろお考えいただいて、進めていただければと思います。

今日伺いました点については、またこちらも改善をしていこうと思います。また今後とも連携よろしく願いいたします。

○府中市長 ありがとうございます。

○行政部長 それでは、以上で意見交換を終了いたします。本日はどうもありがとうございました。